

次第

- 令和6年度 第2回 富士見町地球温暖化対策推進委員会 -

日時：令和6年7月23日（火）13：30～

場所：富士見町役場 3階会議室

【第1部】

1. 開 会

2. 挨拶

3. 議 事

（1）本年度のスケジュール説明

（2）富士見町脱炭素ビジョン概要

（3）富士見町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の企画提案について

（4）意見交換

（5）その他

4. その他

5. 閉 会



■富士見町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の企画提案説明（別紙資料）

○区域施策編の企画提案説明後の意見

- ・富士見町の区域施策編にはいくつか特色があり、町の直面している課題解決と脱炭素の取り組みについてははっきり記載されている。

また、進行管理のための独自の指標（KPI）を設け、見える化することで計画の取組度合いがわかるようになっている。

- ・分科会でもバイオマスについて議論する場を設けているため、バイオマスに係るポテンシャルについても記載してほしい。
- ・分科会について触れられていなかったが、分科会で出てきた議論の中で他地域の事例であったり計算やデータを集める必要が出てきた場合は議論のサポートをお願いしたい。

また、分科会で漏れ落ちた検討施策の部分については全体の中で検討できるような体制にしたい。

- ・アンケートの項目について、今回は分科会の中でも事業者、住民分科会があるため、そこでの議論を踏まえた設問の設定の仕方等意見が言える形で進めたい。

住民向けアンケートは昨年度もやっているため、昨年度とどう違う形で取るのか、委員やメンバーの意見も取り入れてほしい。

- ・温室効果ガス排出量の現況推計というところに、大口排出の事業者から直接データをもらって数字の積み上げを行うことも継続するとあるが、地球温暖化対策条例の対象事業所は基本的にその国の地球温暖化対策法の排出量を公表届け出制と同じ範囲になるため県で公表されているデータを使用してもらうのがよい。（県HP：くらし環境の中のゼロカーボン産業 事業所活動温暖化対策計画 参照）

- ・カーボンダッシュボードは産業振興センターが作成したものだが入力方法等が細かくて、ある程度の企業でもなかなか取り組みづらいという意見がある。

電気の使用量についても、どの位使用しているかなど個別累計する場合もそのデータ取りに頭を悩ませている状況のため、スムーズにデータを蓄積する簡単な方策にしてもらうことで中小企業でも取り組みやすくなると思う。

まだまだゼロカーボンっていうのは頭の中にはあっても具体的な行動ができていない中で、それをどうやって説明しながら、具体的な行動にしてもらえるかというのがこの委員会の役目だと思うため、知恵を絞って住民を巻き込みながら取り組みたいと思う。

